【2024 年度　グループ活動報告】

心をつむぐ　あしたを織る

報告月	3月
グループ名	染織ころも

報　告　内　容

※写真があれば添付

3 月 1 日（活動 4 名）KA、NI、HA、HO
　3 月 22 日(土)からの羅織作品展の準備。我々の作品は個々で 2 点前後なのであまり迷わなかったが先生の作品は、たくさんあるため何を展示するか少し迷った。

3 月 8 日（活動 2 名）KA、HA
　モノづくりンピック　体験回数と人数を増やしたのでその準備
　優勝者の賞品を染織ころもでも用意するがあすてからもいただいた。
これで子供が欲しい賞品を選ぶ楽しみができると思う。

3 月 15 日（活動 2 名）KA、HA
　織り初めの平織りをした。横糸をひに巻きつけるのに手間取り…今回も出来上がりまでかかりそう　　HA

ものづくりンピックルール・得点表作り KA
小さい子に不利にならないような丁寧に織った子に不利にならないような採点を工夫

段ボール織ルール

1　織目をとばさずきれいに織る　10 点（とばしたらその分点数は入らない）

2　たくさんの段数を織る　（織った段数だけ得点）

3　幅が狭くならず織る　　9センチ　20 点
　　8センチ　18点
　　7センチ　16点
　　6センチ　14点
　　5 センチ以下 10 点

3 月 20 日（活動 4 名）KA、NI、HA、HO
　ものづくりンピック
　10:30　12:00　1:30 からの 3 回　各 5 名
開始すぐに整理券は無くなってしまったよう
整理券のことを知らずに部屋に来た方もいて少し戸惑った
整理券だけもらい来ない人も 1 回目には 2 名
説明の都合や織る時間の都合もあるので開始 10 分を過ぎて来なかった方はやれない旨、表示に追加で書かせていただいた。
ただ、小さい子で親がほとんど織った場合採点対象にはしないことで了承を得た。
結果、1 回目 3 名　2 回目 3 名 4 回目 2 名が採点対象となった。
こう考えると一人で織れる小学生以上を対象にしておいたほうがよかった。

3 月 22 日（活動 4 名）
KA,NI，HA、HO
みよし市石川家住宅展示
はじめ持っていった作品をほとんど並べたが、事務所の方が見られて、「少し多すぎて見づらい」と言われ半数ぐらいに減らした。我々としては多くの作品を見ていただきたいと欲が出たのだと思う。
　当初は羅織りの展示のつもりであったが、糸紬から染め織すべてを行った作品や大学生が織ったつづれ織りの作品も持ってきていただいたのでそれも展示できた。
　29 日に一部作品を入れ替える
22 日中日新聞に石川家住宅のことが掲載されたため見学者が多く良かった。また、中日新聞矢作新報の取材も受けることができた。

	得点表	番　名前			得点
1	織目をとばさず織る	#	とばした段　　段		
2	織った段数		段数分得点　　段		
3	幅　9ｃm20点　8ｃm18点　7cm16点 6cm14点　5cm以下　10点				
				合計	点
				順位	位

【2024 年度　グループ活動報告】

心をつむぐ　あしたを織る

※翌月、5 日までにデータで提出ください。

報告月	2 月
グループ名	染織ころも

報　告

内　容

※写真があれば添付

2 月 1 日　ヒアリング

（ちょっと表現違いますが）
染織ころも活動方針
・一度途絶えていた羅織りの技法を習得する
・作った作品を多くの方に見ていただき羅織りを知っていただく。そのために展示する機会を増やす。
（今年度はあすて 6 月・竜神交流館 8 月・市美展 11 月・みよし石川家 3 月）
・毎月の活動報告でその日の気づきを報告するようにする。

ものづくりンピック打ち合わせ

2 月 1 日　個人作業

羅の下掛け作り。
　こんなに細い経糸に下掛けを作るのは初めてで、細いかぎ針を使ってかけていく繊細な作業。集中力が切れると間違えるので、一度で作り切るのはとても大変。　細美
糸綜絖を通してからちぎり巻き。手伝ってもらい糸切れにすぐに気づけて直し方を教えてもらえたり速くきれいに巻いたりできた。服部
卓上機で羅織。ふるえが上しか作ってないので紋様を連続して織ることができない。一柄毎に竹籤で紋様をひろう。深津先生が自ずと次の横糸の場所は分かるよと言われたができない。色々試してみて自由に織れるようになりたい。　新美
羅織りで綾織にトライ。一段に 3 本の杼（ひ）を使って織ったとき 1 つでも間違えると 3 本の杼を全て通し直さないといけないので大変。経糸の張り具合が均一でないといけないと痛感　金田

2 月 8 日　ものづくりンピック準備

　段ボールに経糸をセット　実際に織ってみたところ経糸の太さは子供の作業のことを考えると少し太めのタコ糸の方がやりやすいということに。10 人分の段ボールをセット。

2 月 8 日午後　シルク時空を超えて

ドキュメンタリー映画の視聴
蚕種・養蚕・生糸づくりなどを通して、古の文化・産業から人の生き方を考える。人は科学の使い方を考えず便利さばかりを追い求めすぎた。やりがいや人とのつながりが薄れてきた。
　機械で織るばかりでなく、人が織るなかから先人の生き方を学びこれからの自分の生き方を考えることは大切なことだと感じた。
「記憶のない国に未来はない」と締めくくられた。

2 月 1 5 日

　経糸が何本か切れてしまったので、もじり織だとテンションがかかりすぎるので平織りに変えてみたがやはり経糸が切れてしまうのでこの糸で織るのは断念。金田

下掛けの糸が絡まり苦労。何故糸が絡まるのか？次は絡まないよう工夫。
細美

2 月 22 日

　午前　一宮　長谷川商店
シルクマーケットで糸の調達
いろいろな種類の糸と触れ、作品作りに思いを馳せる
　新美　服部　金田
　午後　石川家　見学
会場を見学し、展示品の選定
展示のし方の検討が必要
　新美　服部　金田　細美

あすてメールアドレス：astesun@aste-toyota.com

【2024 年度　グループ活動報告】

心をつむぐ　あしたを織る

※翌月、5 日までにデータで提出ください。

報告月	１２・１月
グループ名	染織ころも

報　告 内　容 ※写真があれば添付	12・１月　新美リジットで羅織り（考えていた設計図とちょっと感じが違う織り柄の気がする） 服部　綜絖通し（糸の本数と綜絖の本数を考えずにやってしまい綜絖が足りなくなる。4 枚綜絖だったので残りの 2 枚から綜絖を抜いて増やした。綜絖と糸の本数をきちっと数えないといけないと反省） 細見　先生の紗羅織りの羅の部分の糸綜絖を切って、綜絖の作り直し（細くて本数も多いのでなかなか思うように作業が進まない） 金田　羅織りの糸綜絖の作り直し（上手織れず一度作った綜絖を切ってもう一度綜絖の作り直し） ものづくりンピックについての話し合い（覚書） 段ボール織を計画していたが、他にも子どもが魅力的に感じて、達成感を感じられるものはないか再び話し合う。 ・糸結び（残糸を制限時間内にどれだけ長く結べるか・・・結び方はどのようでもよいとしても、結んだ糸をどうするか。嬉しいか？） ・ミサンガづくり（出来上がったものを持って帰れるし、達成感がある。少し子供には難しいのでは） ・さき織（段ボールでさき織、ちょっと難しいかも） 話し合いの結果、やはり自分で織ったものを持って帰ることができるし、使うこともできる段ボール織が良いということに。 競うという点で、はじめは減点方式で考えていたが、減点ではなく加点方式にしたほうが良いということに。 用具 段ボール（以前の残りあり）　杼（持ち帰れるようにするなら段ボールで作る）　横板　経糸（タコ糸） 緯糸（太い毛糸　家にあれば持参、無ければ購入） 採点 目をとばさず織れた　10 点（とばした数だけマイナス） 織った段数　段数分 幅が狭くならず織れた　20 点 5 センチ以下 10 点　5 センチ 1 5 点　6 センチ 1 6 点　7 センチ 17 点　8 センチ 18 点　9 センチ 19 点 2 セット　10 時 30 分から 11 時 30 分　1 時から 2 時　早くできてしまった子は機織り機で機織り体験あり？ 1 セットごとに勝者を決める　勝者には何かご褒美

【2024 年度　グループ活動報告】

心をつむぐ　あしたを織る

※翌月、５日までにデータで提出ください。

報告月	１０・１１月
グループ名	染織ころも

報　告 内　容 ※写真があれば添付	１０月 **新見さん**　リジットで織り始める糸綜絖は上のみ **服部さん**　上と下の糸綜絖をかけ、織り始める（かえりの織には、上糸と下糸の間に薄い板を入れ、織るときにその板を立て隙間を作る。その中に糸を通すと、間違えずに戻りの糸が通せる方法を使って織りだしたら少しスムーズに織れ、作業効率が上がった） **細見さん** 糸綜絖をかけ直したが、もじり糸と地糸それぞれに糸綜絖がかかってしまい、やり直し。 **金田** 長期にわたって織っていた作品が出来上り １１月　**服部**　作品完成 **新見・金田・細見** 豊田市市民美術展に出品 （今年は先生は出品されませんでしたが、染織ころもからは３作品出品し、見ていただくことができました） ９月から織り始めた作品制作途中

【2024 年度　グループ活動報告】

心をつむぐ　あしたを織る

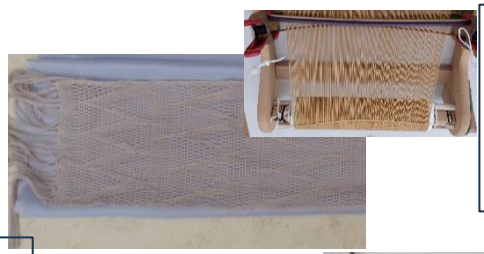
※翌月、５日までにデータで提出ください。

報告月	８・９月
グループ名	染織ころも
報　告 内　容 ※写真があれば添付	

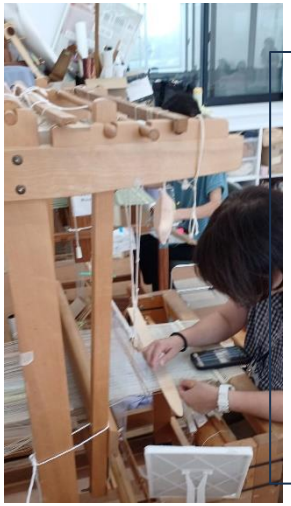
８月
あすてで展示した深津先生の作品を竜神交流館に展示

９月

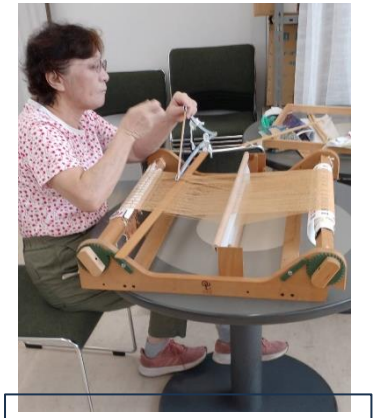
沙羅織りの試作完成



アシュフォードの機にリジットではない筬を取り付け織れるか挑戦
（普段は１センチに対して糸５本の筬を使用しているが今回はセンチ８で）



深津先生の織りかけの沙羅織りの糸綜絖をかけ直し（我々が今まで織ったことのない細い糸を使用されているので四苦八苦。目もしょぼしょぼ。



アシュフォードのリジット機で羅織りに挑戦するために筬通し。
羅織りのための糸綜絖をあざりを使って制作中

対称の柄が織れるよう糸の下にも糸綜絖をかけ織り始めたところ。

あすてメールアドレス：astesun@aste-toyota.com

7【2024 年度　グループ活動報告】

心をつむぐ　あしたを織る

※翌月、5 日までにデータで提出ください。

報告月	７月
グループ名	染織ころも

報　告

内　容

※写真があれば添付

７月の主な活動

羅織りを知っていただくための活動

① ランタンにする（和紙の中に漉き込みランタンにする。

② 接着芯に織物を接着しスカートに仕立てる。

③ 竜神交流館での展示準備
（8 月 10 日～24 日展示予定）

1

2

3

制作活動

・深津先生の沙羅織りの続きを行ってきたが上手に続きができなくなったため一度ふるえを切ってふるえづくりを再開

・個々の機でも羅織りができるよう準備（個々の作品作り）

あすてメールアドレス：astesun@aste-toyota.com

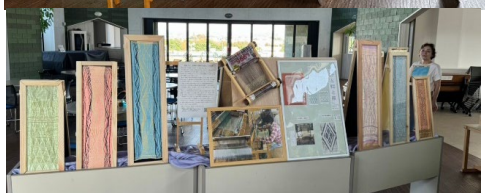
【2024 年度　グループ活動報告】

彷 心をつむぐ　あしたを織る

※翌月、5 日までにデータで提出ください。

報告月	5・6月
グループ名	染織ころも

報　告 内　容 ※写真があれば添付	5 月　展示会の準備 ・ホールにある旧花台を利用する 花台の底上げ準備（段ボール） ・額の制作（大間知さんが作ってくださった材料を使って額づくり、足りない分はメンバーで） ・模造紙にスプレーノリで作品を貼り付け、額に張り付ける ・額 2 枚を花台の幅に合わせ貼り合わせる ・広報用のちらしと、展示会のあいさつ文の作成 6 月　展示会 ・見に来ていただいた方への対応等 何人かの方が見に来ていただき、説明できるときは説明させていただきました その他 ・紗羅織りの進行 ・展示しきれなかった作品の利用を考える （服・タペストリー テーブルセンターなど）



染織ころも　深津鋼次 紗羅織り作品展

糸が導くアンデスの夢

日時　6 月 1 日（土）～ 6 月 22 日（土）（日曜休み）

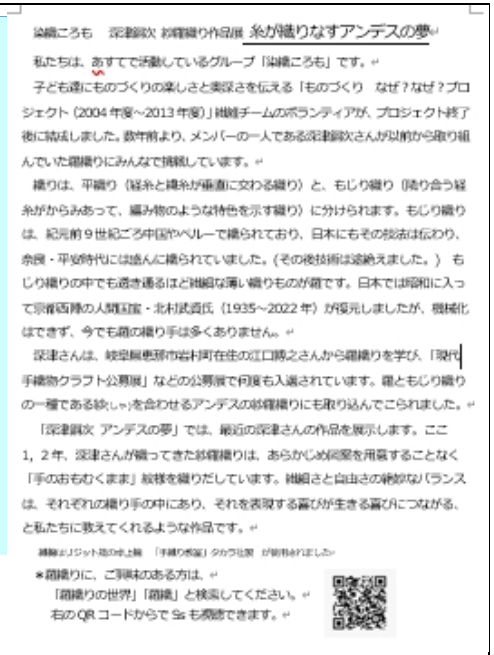
時間　10 時～ 17 時（最終日は 15 時まで）

場所　公益財団法人 あすて（豊田市本町本竜４３）

入場料　無料

紀元前からアンデスで織られてきた紗羅織り（さらおり）、

その繊細さと図案のない自由さを楽しんでください。


染織ころも　深津鋼次 紗羅織り作品展 糸が織りなすアンデスの夢

私たちは、あすてで活動しているグループ「染織ころも」です。

子ども達にものづくりの楽しさと奥深さを伝える「ものづくり　なぜ？なぜ？プロジェクト（2004 年度～2013 年度）」繊維チームのボランティアが、プロジェクト終了後に結成しました。数年前より、メンバーの一人である深津鋼次さんが以前から取り組んでいた羅織りにみんなで挑戦しています。

織りは、平織り（経糸と緯糸が垂直に交わる織り）と、もじり織り（隣り合う経糸がからみあって、編み物のような特色を示す織り）に分けられます。もじり織りは、紀元前９世紀ごろ中国やペルーで織られており、日本にもその技法は伝わり、奈良・平安時代には盛んに織られていました。（その後技術は途絶えました。）もじり織りの中でも透き通るほど繊細な薄い織りものが羅です。日本では昭和に入って京都西陣の人間国宝・北村武資氏（1935～2022 年）が復元しましたが、機械化はできず、今でも羅の織り手は多くありません。

深津さんは、岐阜県恵那市岩村町在住の江口博之さんから羅織りを学び、「現代手織物クラフト公募展」などの公募展で何度も入選されています。羅ともじり織りの一種である紋しゃ)を合わせるアンデスの紗羅織りにも取り込んでこられました。

「深津鋼次 アンデスの夢」では、最近の深津さんの作品を展示します。ここ 1，2 年、深津さんが織ってきた紗羅織りは、あらかじめ図案を用意することなく「手のおもむくまま」紋様を織りだしています。繊細さと自由さの絶妙なバランスは、それぞれの織り手の中にあり、それを表現する喜びが生きる喜びにつながる、と私たちに教えてくれるような作品です。

繊維はリジット地の中上線　「手織り感覚」タカラ社製　が使用されました

＊羅織りに、ご興味のある方は、
「羅織りの世界」「羅織」と検索してください。
右の QR コードからで Ss も表示できます。

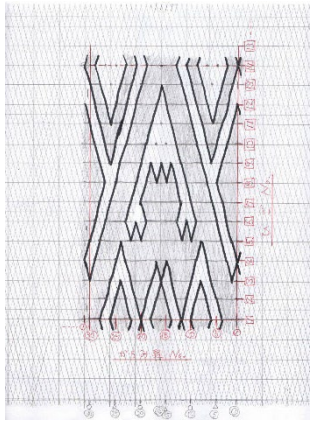
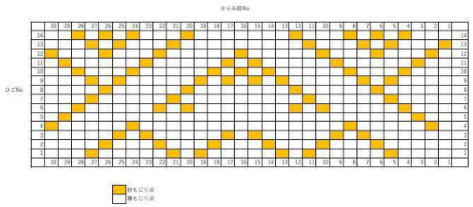
あすてメールアドレス：astesun@aste-toyota.com

【2024 年度　グループ活動報告】

心をつむぐ　あしたを織る

※翌月、5 日までにデータで提出ください。

報告月	４月
グループ名	染織ころも

報　告 内　容 ※写真があれば添付	1　深津先生が織っていらっしゃった紗羅織りの織物を図案に起こし、紗羅織りの織り方を模索   2　深津先生がリジット機で織られた作品の展示に向け、展示のし方を話し合い。材料集め。 ・大間知さんに額を作ってもらう ・作品はスプレーノリで色付き模造紙に貼り額にはめ込む 3　織機を大間知さんに作っていただくために、材料を集めたり機の寸法を測ったりして準備を進める。

あすてメールアドレス：astesun@aste-toyota.com